

宮沢地区公民館だより



令和 8 年 8 月 1 日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX22-0433

振興連絡協議会 グラウンドゴルフ大会

日時：9月10日(木)
8時30分～11時30分
場所：徳良湖グランドゴルフ場

申込締切：9月1日(火)
宮沢地区公民館まで



参加
者募集



一緒に楽しみましょう！
みなさんの参加、お待ちしております。

防犯診断に協力を

乗り物の盗難、車上狙い等防止を目的に、宮沢駐在所と連携して防犯診断を実施します。防犯協力員・防犯委員・消防団の方が地域を回り、自動車・バイク・自転車の鍵の施錠確認を行いますので、ご協力よろしくお願いします。

実施期間：8/1(土)～8/21(金)



防犯協会宮沢支部

敬老祝い品をお届けします！

長年にわたり、社会の発展に貢献してこられた先輩方を敬い、これまでのご労苦に感謝するとともに、長寿をお祝いするため祝品を贈呈いたします。



9月5日(土) 岩谷沢、市野々、関谷
矢越、高橋、中刈、押切
中島、行沢

9月6日(日) 上ノ宿、正厳1～正厳3
丹生1～丹生3、安久戸

宮沢地区「地域づくり助成金」を活用して地域を元気に！

Q 対象事業は？どんな時に使えるの？

A 地域の元気力向上のための自主的・主体的な事業(但しほかの補助事業との併用はできません。)
(健康づくり・地域づくり事業や地域内で取り組むイベント等)

Q 助成金の金額は？

A 事業費に要する経費又は1万円のいずれか少ない額

Q 対象となる団体は？

A 地区内集落の住民組織や地区民で構成されたコミュニティ団体

事前申請に
なりますので、
まずは
ご相談ください。

お知らせ

8月28日(金)



おばなざわ花笠踊り大パレードに子供育成会・安久戸流保存会と古川宮沢地区の皆さんが参加します。
ご声援をよろしくお願いします！

表彰 おめでとうございます！

山形県防犯協会連合会長
山形県警本部長連名表彰

菅野 恭司さん（行沢）



5月27日（水）に山形県防犯協会連合会総会にて、防犯功労者として菅野恭司さんが表彰されました。氏は永年にわたり宮沢支部長や地域防犯連絡員を歴任され地区の安全活動に尽力された功績が認められたものです。

尾花沢大石田地区
防犯協会連合会長
尾花沢警察署長連名表彰

阿部 隆一さん（上の宿）



7月1日（水）尾花沢大石田地区防犯協会連合会総会にて、防犯功労者として阿部隆一さんが表彰されました。氏は永年にわたり地域防犯連絡員として地区の防犯活動に尽力された功績が認められたものです。

中沢川砂防堰堤草刈り

7月13日（月）朝5時30分から中沢川砂防堰堤の草刈りが行われました。

ここは翁山の入口、翁橋の上下流に4つの堰堤と護岸施設があり、平成22年に「中沢川砂防施設」として国登録有形文化財に認定されています。昔から宮沢地区は急峻な奥羽山脈を背景に度重なる洪水に悩まされてきました。この施設は県内初の近代砂防事業として災害から生活を守るために築かれ100年を経た今も効果を発揮しています。

こうした貴重な文化財を後世に伝えようと、毎年、地区民らがボランティアで草刈等の維持活動を行っています。今年は降雨の中での作業となりましたが、無事終わることができました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



色鮮やかな紅の色 紅花染め体験教室



6月29日（月）紅花染め体験教室を開催しました。参加者たちは最初に講師の横澤孝博さんから紅花染めの染料がどのように作られるのか説明を聞いた後、輪ゴムを使用し各々オリジナルの絞りを作ります。次に紅花の花から抽出した鮮やかな赤や黄色の色素でスカーフを何度も染めました。自分好みに染めあげ、絞りを外した際に現れた様々な模様に参加者たちは大満足の笑みがあふれていました。

11月開催の地区公民館作品展で展示しますのでご覧ください。

昭和の宮沢（その4）

宮沢と戦争

文責 三浦幹雄

今から81年前の8月15日は日本が終戦した日である。世界では今も戦火が絶えないが、日本はこの80年戦争をしない希有な国である。それは先の大戦で320万人（軍人と民間人）もの戦没者を出した悲惨な戦争を反省し、教訓として国民が何よりも戦争を否定し平和を希求してきたからである。言い換えれば今日の日本の平和と繁栄は戦没者の犠牲者の上にきずかれており、宮沢からも205人もの戦死者を出している。復員された方々も筆舌に表せない辛苦を体験している。宮沢で最後の戦争体験者だった倉兼政芳さん（丹生）も昨年102才で亡くなられた。生死紙一重のシベリヤ抑留を多くの短歌で残されている。戦争を知らない世代が大半の時代、平和が当たりまえでない事を伝えなければならない。今回は昭和の戦争を記してみる。

宮沢の戦没者 205人

（昭和12年勃発の日中戦争及同16年の太平洋戦争 市福祉課資料）

安久戸	丹生	正厳	上宿	押切	中島	行沢	高橋	中刈	富山	市野々	岩谷沢
14人	34人	33人	7人	11人	12人	15人	8人	12人	21人	16人	22人

上記のほか宮沢から日清戦争で2人、日露戦争で7人、シベリヤ出兵で1人が戦死。一軒で兄弟2人の戦死者を出している家も多く14家。さらに3人の戦死者を出しているのが正厳・岩谷沢に2家あり、家族の悲しみはいかばかりか。赤紙（戦争への召集令状）という不可抗力の悲惨さが身に沁みる。

宮沢の戦死者の地域

国・地域	戦死者数	全体の割合
中国・満州	60人	30%
東南アジア フィリピン	109人	53%
沖縄・国内	36人	17%

（左の表は筆者が市役所の戦死者名簿より算出したもの）

宮沢の戦死者年度別

戦死の年度	戦死者	割合
昭和12-17年	45人	22%
昭和18-20年	160人	78%

神社の戦死者氏名は御所に刻印されている。

特攻隊で戦死した押切富家さん17歳（市野々）『宮沢中五十年誌』より

太平洋戦争が末期になり戦況が悪くなると日本軍は苦肉の策として兵士を犠牲にし飛行機を敵艦に体当たりさせる特別攻撃（特攻）作戦を実施した。押切さんは昭和17年高橋国民学校高等科を優秀な成績で卒業、予科練に志願し訓練を終え同20年5月沖縄の敵艦に突入、17歳、宮沢で最年少の戦死者となった。この3ヶ月後に終戦になったので惜しい命であった。

終戦時私は小学3年で、父とその弟、母の弟2人、肉親4人を戦争で亡くした。さらに祖父は日露戦争で弾丸が貫通し働けなくなった。私は「日本はなぜ無謀にも2大国を相手に同時に戦ったのか」を知る事をライフワークとし、轍を踏まないよう平和の尊さを訴えている。

昭和18年中島音楽隊が正厳を送る。尾花沢駅まで送る。



（右）昭和20年に出征する楽隊が地区に青年を送る。居る青年は、押切では女子青年団で編成した。森山一氏所蔵



おきな茶屋夏祭り



7月15日(水)おきな茶屋で夏祭りを開催しました。ボランティア含め60名の参加者は、七夕の短冊に願い事を書いて飾ったり、誕生会や太鼓の達人などのさまざまゲームを楽しみました。その後に、輪になって盆踊りを踊りました。昔を懐かしみ満面の笑みがこぼれました。山刀伐窯の会の「ピザ」と、「焼きそば」や「こんにゃく」など美味しいものも沢山並び大盛況の夏祭りとなりました。来年の開催も楽しみです。

「つなごう！おばね支え合いたい in 宮沢」

主催：市社会福祉協議会



7月17日(金)2回目の話し合いが地区公民館で行われました。

前回課題となった、「将来に向けて残したい伝統や方言」と「地域の防災」について活発な意見が交わされました。「宮沢の歴史遺産や伝統文化、さらには独特の方言等を『かるた』にして後世に残してみてもどうか。」「昨今はいつ災害が、

起きてもおかしくない。万一に備えることが大事。あわてないためにも訓練が必要ではないか。」など住み続けられる地域を作るための様々な提案が出されました。

行事予定

- 8月 1日(土) フラワーロード除草作業
- 8月 4日(火) 歴史保存会みやざわとの合同研修
- 8月 5日(水) ヨガ教室
- 8月 7日(金) 夏休み子ども体験教室
- 8月 17日(月) 子ども育成会花笠踊り練習①
- 8月 19日(水) おきな茶屋
- 8月 20日(木) ヨガ教室
- 8月 24日(月) 子ども育成会花笠踊り練習②
- 8月 28日(金) 花笠踊り大パレード

公民館だより
カラー版
も見てください。



宮沢地区の人口と世帯

R8.7.1 現在		(前月比)	
男	性	705人	(-1)
女	性	691人	(-1)
合	計	1,396人	(-2)
世	帯数	552戸	(±0)

事業問合せ・申込先：宮沢地区公民館
電話・FAX 0237-22-0433